

教科名	数 学 科		週時間数	3 時間	学年	2 年
使用教科書 及び 副教材等	教科書「未来へひろがる 数学2」(啓林館) 副教材「数学の問題ノート②」(新学社) 副教材「積み上げプリント2」(明治図書)					
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・文字の式、方程式、関数、図形などに関する基礎的な知識、技能を身につける。 ・筋道を立てて考え、ものごとを合理的に処理する能力を伸ばす。 ・自主的、積極的に考え、新しいものごとを理解し創造しようとする能力と態度を養う。 					
目指す姿	支え合う	○課題に対して数学的な見方・考え方を働かせて、自分の考えを持ったり、他者にわかるように伝えたりしようとする姿。 ○グループ活動を通して、自分の考えを他者に伝えるとともに、他者の考えを受け入れ、相違点や共通点について考えようとする姿。				
	高め合う	○グループ活動などを通して、気づいてことをもとに、思考を深めることで、問題を解決しようとする姿。				
学習の進め方	【学習への取り組む姿勢】 ○授業では教科書を中心に、基礎学力をつけることを目標に取り組みましょう。 ○基本問題を終えた後、主に問題集を使い応用問題にも取り組みましょう。 ○授業中の発表、発言、生徒同士の教えあいを大切にし、意欲的に授業に取り組みましょう。					
	【家庭学習】 ○授業の予習・復習を必ずしましょう。 ○授業で分からないところがあれば、その日のうちにわかるようにしましょう。 【端末の活用】 ○ドリルパークを使って、個々の理解度に合わせて問題に取り組みましょう。 ○理解しづらい内容は、教科書のQRコードを利用しましょう。					
定期テスト	出題方針	教科書の内容に準じて、基本的な数学力を問う問題を出題します。また、応用問題の出題により、数学的な思考・判断・表現の習熟度を計ります。				
	範 囲 (予定)	1学期中間	・式の計算 ・文字式の利用			
		1学期期末	・連立方程式 ・連立方程式の利用			
		2学期中間	・一次関数とグラフ ・一次関数と方程式 ・一次関数の利用			
		2学期期末	・平行と合同 ・証明 ・三角形			
学 年 末		・四角形 ・場合の数と確率 ・箱ひげ図				
評価方法	観点	評価の方法		評価について		
	知識・技能	・小テスト、定期テスト等 ・授業への取組		・基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けられたか。		
	思考・判断・表現	・小テスト、定期テスト等 ・授業への取組		・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりできたか。図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や関係を直感的に捉え論理的に考察し表現できたか。数量の変化や対応に着目して関数関係を見出し、その特徴を表、式、グラフなどで考察できたか。データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりできたか。		
主体的に学習に取り組む態度	・小テスト、定期テスト ・ワーク、ノート、プリントの提出と 取組内容 ・授業への取組		・ワーク、ノートの提出物、プリントの達成状況や取り組み内容、授業態度や意欲的な姿勢等を総合的に判断する。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたか。			

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4月	1、式の計算	・式の計算	7	・用語の意味を理解する。 ・加法減法・単項式どうしの乗法除法ができる。 ・単項式の累乗の計算ができる。
			・文字式の利用	4	・文字式を活用して整数の性質等を説明することができるようになる。
	5月	2、連立方程式	章末問題	2	
			・連立方程式	8	・連立方程式とその解の意味を理解する。 ・加減法や代入法で連立方程式を解くことができる。
			・連立方程式の利用	5	・問題解決に連立方程式を利用することができる。
	6月	3、一次関数	章末問題	2	
			・一次関数とグラフ	12	・一次関数の意味を理解する。 ・一次関数の変化の特徴を理解する。 ・傾きや切片の意味を理解し、一次関数のグラフがかけられる。 ・グラフや与えられた条件から直線の式を求めることができる。
2	9月	4、図形の調べ方	・一次関数と方程式	3	・二元一次方程式のグラフがかけられる。 ・グラフをかき、連立方程式の解を求めることができる。
			・一次関数の利用	4	・問題解決に一次関数を利用できる。
	10月	5、図形の性質と証明	章末問題	2	
			・平行と合同	10	・対頂角の性質や平行線と角の関係について理解する。 ・多角形の角の性質について理解する。 ・合同な図形の性質や三角形の合同条件を理解する。
			・証明	5	・証明の意義としくみを理解する。 ・平行線と角の関係や三角形の合同条件を根拠にした証明の進め方を理解する。
11月	6、場合の数と確率	章末問題	2		
		・三角形	8	・三角形の合同条件を使って、二等辺三角形の性質を証明し、図形の性質の調べ方を理解する。 ・直角三角形の合同条件を導き、その使い方を理解する。	
3	1月	7、箱ひげ図とデータの活用	・四角形	10	・平行四辺形の性質や平行四辺形になる条件を理解する。 ・長方形、ひし形、正方形の性質を理解する。 ・等積変形の方法を理解する。
			章末問題	2	
	2月	7、箱ひげ図とデータの活用	・場合の数と確率	8	・確率の意味を理解する。 ・起こりうる場合を順序良く整理して調べることができる。 ・簡単な場合について、確率を求めることができる。
章末問題			2		
3月	3月	7、箱ひげ図とデータの活用	・箱ひげ図	7	・箱ひげ図や四分位範囲の必要性和意味を理解する。 ・箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータ分布の特徴や傾向を読み取り、表現する。
			章末問題	2	